

肝臓の癌化とライソゾームの機能の関連に関する研究

著者	安東 醇
著者別表示	Ando Atsushi
雑誌名	昭和60(1985)年度 科学研究費補助金 がん特別研究 研究概要
巻	1985
ページ	1p.
発行年	2016-04-21
URL	http://doi.org/10.24517/00060310

肝臓の癌化とライソゾームの機能の関連に関する研究		Research Project
Project/Area Number	60015027	All▼
Research Category	Grant-in-Aid for Cancer Research	
Allocation Type	Single-year Grants	
Research Institution	Kanazawa University	
Principal Investigator	安東 醇 金沢大学, 短大, 教授 (50019915)	
Project Period (FY)	1985	
Project Status	Completed (Fiscal Year 1985)	
Budget Amount *help	¥1,300,000 (Direct Cost: ¥1,300,000) Fiscal Year 1985: ¥1,300,000 (Direct Cost: ¥1,300,000)	
Keywords	癌 / 肝臓 / 癌化 / ライソゾーム / 酸性ムコ多糖 / ガリウム-67 / スカンジウム-46	
Research Abstract	<p>〔目的〕肝臓の癌化に伴って、ライソゾームへの酸性ムコ多糖の流れがどのように変化するかを酸性ムコ多糖の種類ごとに明らかにすること、その原因を明らかにするものである。【⁶⁷Ga⁽³⁺⁾】は肝臓においてはライソゾームへ集積することが知られていたが、酸性ムコ多糖によってライソゾームへ運ばれることは、我々が以前に報告し、また【⁴⁶Sc⁽³⁺⁾】も肝臓のライソゾームへ運ばれることを我々がみいだした。本研究は【⁶⁷Ga⁽³⁺⁾】、【⁴⁶Sc⁽³⁺⁾】の肝細胞、癌細胞中での挙動および結合物質を手掛りとして上記の目的を達成しようとするものである。</p> <p>〔実験〕【⁶⁷Ga】-citrate, 【⁴⁶Sc】-citrateを種々の種類の担癌動物へ注射し、肝および癌を摘出し、【⁶⁷Ga】および【⁴⁶Sc】のライソゾームへの集積率とこれら元素の結合する酸性ムコ多糖の種類を調べた。</p> <p>〔成果〕肝臓においては【⁶⁷Ga】が結合する酸性ムコ多糖(分子量約10,000、ケラタンポリ硫酸と推定される)と【⁴⁶Sc】が結合する酸性ムコ多糖(分子量は40,000以上、種類は未定)は全く同じように細胞内でライソゾームへ集積するが、肝臓が癌化すると【⁶⁷Ga】と結合する酸性ムコ多糖のライソゾームへの集積は顕著に減少し、肝臓以外の癌ではライソゾームへの集積は非常に少なくなる。これに対し、【⁴⁶Sc】と結合する酸性ムコ多糖は肝臓が癌化してもライソゾームへの集積はあまり減少せず、肝臓以外の癌でもライソゾームへ多量に集積することが判明した。このことは肝細胞では幾種類もの酸性ムコ多糖がライソゾームへ集積しているが、肝臓の癌化に伴って集積が著しく減少する酸性ムコ多糖と、あまり減少しないものがあることを意味していた。</p> <p>〔反省と展望〕肝臓の癌化に伴って酸性ムコ多糖のライソゾームへの流れに変化の起ることが明らかとなった。今後はこの原因を明らかにするとともに癌の診断に利用する方法を検討したい。</p>	

Report (1 results)

1985 Annual Research Report

Research Products (1 results)

[Publications] Eur.J.Nucl.Med.10-5/6. (1985)	All	Other
	All	Publications
▼		

URL: